

株主メモ

- 決算期 3月31日
- 配当金受領株主
確定日 3月31日
なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、
9月30日といたします。
- 定時株主総会 毎年6月
- 株主確定基準日 3月31日
そのほか必要があるときには、あらかじめ公告いたします。
- 1単元の株式数 100株
- 公告の方法 電子公告により行います。
ただし事故その他やむを得ない事由により電子公告によることが
できないときは、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス
<http://www.weds.co.jp>
- 株式名義書換
名義書換代理人 東京都港区芝三丁目33番1号 〒105-8574
中央三井信託銀行株式会社
- 同事務取扱所
（お問合せ先） 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 〒168-0063
中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
（郵便物送付先）（証券代行事務センター）
電話03（3323）7111（大代表）
- 同取次所 中央三井信託銀行株式会社 全国各支店
日本証券代行株式会社 本店・全国各支店

株式関係のお手続き用紙のご請求は、下記の中央三井信託銀行の電話およびインターネットでも24時間承っております。

電話 ☎ 0120-87-2031

ホームページアドレス http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html

weds CO.,LTD.

株式会社ウェッズ

〒143-0016

東京都大田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル6階

TEL 03-5753-8201

URL <http://www.weds.co.jp>

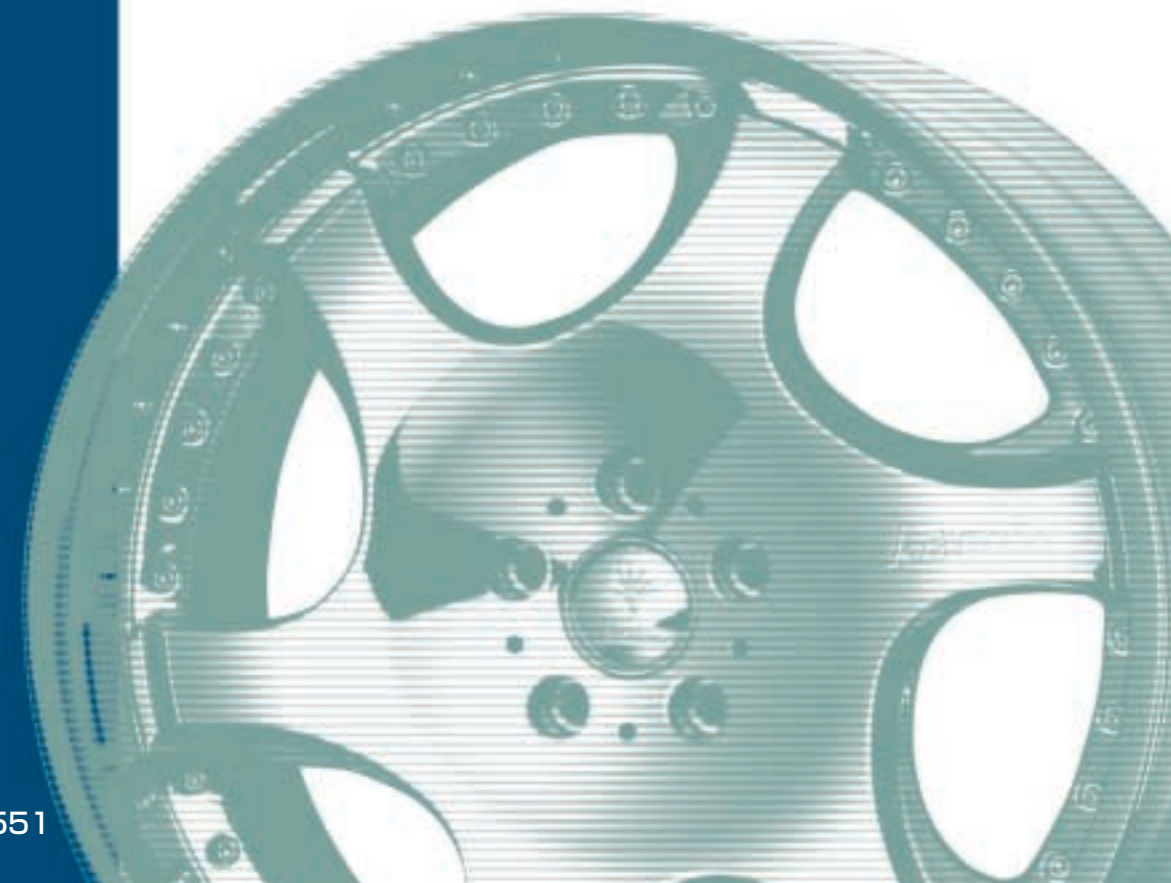


40th

第40期 事業報告書

平成16年4月1日から平成17年3月31日まで

weds
株式会社ウェッズ



証券コードNo.7551

車と社会の未来を グローバルに創造する



CONTENTS

株主の皆様へ （第40期の営業概況について）.....2
決算ハイライト（連結）.....3
第41期業績の見通しと 会社の対処すべき課題.....4
連結財務諸表.....5
NEW PRODUCTS.....7
TOPICS.....8
会社の概要・株式情報.....10

●株主の皆様へ（第40期の営業概況について）



株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は当社の事業運営に格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて第40期（平成16年4月1日から平成17年3月31日まで）の当社業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国等向け輸出増に伴う企業収益の拡大によって設備投資が増加し個人消費も改善基調となって景気は好転しましたが、年央からの資材価格高騰や自然災害等によって基調が変化し踊り場と見られるに至りました。

自動車用品業界は、国内新車販売台数が前年比横這いで推移していますが、カー用品のアフターマーケットにおいては、業界老舗ホイールメーカーの倒産や暖冬等によって需要は盛り上がりや欠き低調に推移しました。

こうした環境下、当社グループは全力を挙げた経営努力の結果、売上高と利益は概ね前年並を確保しました。

これらの結果、当期の連結業績は、売上高21,890百万円、経常利益229百万円、当期純利益104百万円になりました。

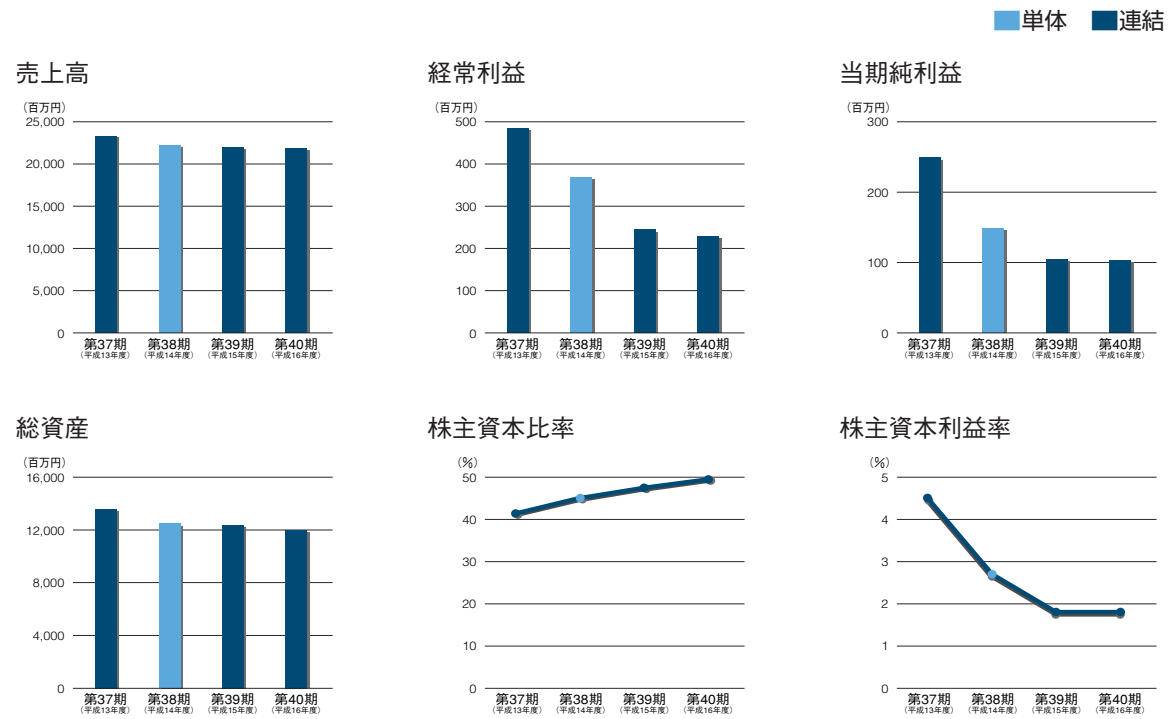
なお、当期の期末配当につきましては1株当たり普通配当5円に第40期の記念配当2円を加えて7円とさせていただき、中間配当とあわせて年間では1株当たり12円の配当とさせていただきたいと存じます。

当社は本年4月より第41期に入っておりますが、前第40期の節目を契機に会社活性化施策としてウェッズルネッサンス活動を展開しております。中長期的に大なる飛躍を求め挑戦的で素晴らしい企業を目指して精進してまいります。

株主の皆様には、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成17年 6月

代表取締役社長 川口 修



項 目		第37期 (平成13年度)	第38期 (平成14年度)	第39期 (平成15年度)	第40期 (平成16年度)
		連結	単体	連結	連結
売上高	(百万円)	23,290	22,136	21,746	21,890
営業利益	(百万円)	353	350	326	171
経常利益	(百万円)	484	369	244	229
当期純利益	(百万円)	249	149	105	104
総資産	(百万円)	13,610	12,490	12,406	11,977
株主資本	(百万円)	5,623	5,610	5,877	5,916
株主資本比率	(%)	41.3	44.9	47.4	49.4
株主資本利益率	(%)	4.5	2.7	1.8	1.8

●平成15年10月1日付で、流通事業本部（小売事業部・携帯電話代理店事業部・開発営業部）を(株)バーデンとして会社分割しましたので、第39期から連結決算を復活しております。

第41期の業績見通し

次期の日本経済は、米国・中国の景気減速や企業収益の成長鈍化等が懸念されて景気回復が順調に進むかどうか不透明視されております。

カー用品のアフターマーケットは、需要縮小等により競争が激化して淘汰が進行すると見込まれ、市場環境は更に悪化することが懸念されます。

当社グループは、この難局を勝ち残るべく経営諸課題を鋭意推進してまいります。

これらを踏まえた通期の連結業績見通しは、以下のとおりであります。

売上高	22,100百万円 (前年比101%)
経常利益	230百万円 (前年比100%)
当期純利益	110百万円 (前年比106%)

※前記の業績見通しは現時点で入手可能な情報に基づいて当社経営者が判断したものであります。実際の業績は様々な要因の変化により上記と大きく異なる結果になり得ることをご承知おきください。

会社の対処すべき課題

当社グループは、自動車用品アフターマーケットの成熟化や市場競争の激化等によって近年売上・利益が伸び悩んでおり経営体質再構築が急務となっております。

対処すべき課題は、下記のとおりです。

- ・自動車関連事業における商品開発力
- ・自動車関連事業における営業力強化及びシステム構築
- ・自動車関連事業における商品管理の徹底
- ・高齢者複合福祉施設事業の推進

貸借対照表（要約）（単位：百万円）

科 目	第40期	第39期
	平成17年 3月31日現在	平成16年 3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	7,590	8,760
現金及び預金	581	539
受取手形及び売掛金	3,431	4,363
たな卸資産	2,250	2,736
繰延税金資産	140	152
その他	1,204	989
貸倒引当金	△19	△21
固定資産	4,377	3,645
有形固定資産	2,806	2,045
建物及び構築物	1,721	835
土地	1,020	1,019
その他	65	178
建設仮勘定	—	11
無形固定資産	23	28
投資その他の資産	1,547	1,572
投資有価証券	654	619
繰延税金資産	14	10
その他	910	974
貸倒引当金	△32	△32
繰延資産	8	—
資産合計	11,977	12,406

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

科 目	第40期	第39期
	平成17年 3月31日現在	平成16年 3月31日現在
(負債の部)		
流動負債	4,644	4,733
買掛金	1,561	1,081
短期借入金	2,052	2,410
未払法人税等	73	28
賞与引当金	94	114
その他	863	1,099
固定負債	1,415	1,795
長期借入金	888	1,325
繰延税金負債	55	48
退職給付引当金	276	258
役員退職慰労引当金	175	145
その他	19	17
負債合計	6,060	6,528
(資本の部)		
資本金	852	852
資本剰余金	802	802
利益剰余金	4,159	4,125
その他有価証券評価差額金	102	97
自己株式	△0	△0
資本合計	5,916	5,877
負債・資本合計	11,977	12,406

損益計算書（要約）（単位：百万円）

科 目	第40期	第39期
	平成16年 4月1日から平成17年 3月31日まで	平成15年 4月1日から平成16年 3月31日まで
売上高	21,890	21,746
売上原価	17,957	17,520
売上総利益	3,933	4,226
販売費及び一般管理費	3,762	3,899
営業利益	171	326
営業外収益	172	192
営業外費用	114	274
経常利益	229	244
特別利益	30	—
特別損失	12	40
税金等調整前当期純利益	247	204
法人税、住民税及び事業税	131	47
法人税等調整額	11	51
当期純利益	104	105

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

キャッシュ・フロー計算書（要約）（単位：百万円）

科 目	第40期	第39期
	平成16年 4月1日から平成17年 3月31日まで	平成15年 4月1日から平成16年 3月31日まで
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	1,672	554
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△792	△248
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△838	△515
IV 現金及び現金同等物の増減額	41	△208
V 現金及び現金同等物の期首残高	539	748
VI 現金及び現金同等物の期末残高	581	539

(注) 単位未満については切り捨てて表示しております。

市販アルミホイール市場におけるセールスシェアポジションNo.1を目指し、 デザイントレンドリーダーたる高中級ニューアイテムを今年も10アイテム投入！



クレンツェ・バズレイア



クレンツェLXZ521EVO

ヴィレンズT8S

ペローナWLS



クレンツェLXZ15inch

レオニスKL

レオニスYS



ファーマスD7-Revolt

ファーマスT-Revolt

WedsSport SA-70

当社は主力商品であるアルミホイールを高級品から普及品まで幅広く取り揃えておりますが、毎年オリジナルデザインの新品を市場投入して活性化をはかっております。当社がここ数年拡販のためにとくに力を入れております高中級品についてはブランド構築が課題でありましたが、最近では柱となるブランドが育ってきておりますので紹介致します。

まずは当社トップブランドであり、市場認知度が極めて高い高級品「クレンツェ」シリーズですが早くも15作目となる「クレンツェ・バズレイア」を投入しました。今回も含めてこのシリーズは毎年前年の販売実績を上回る結果を更新し続けております。

また昨年投入し今も大好評の「クレンツェLXZ」も新たに「521EVO」と「15inch」を投入したことからクレンツェシリーズを牽引しております。

また他のブランドである「ヴィレンズ」及び「ペローナ」シリーズにも各々新品「ヴィレンズT8S」と「ペローナWLS」を投入しパセッジャー用組付ホイール市場におけるブランド地位を確固なものにしております。

また中級アルミでも10年の実績を誇る「ファーマス」シリーズと同じく8年目の「レオニス」シリーズにおいて新品を投入しております。

そして常に国内レース活動を基盤に展開し認知度が高い「WedsSport」ブランドには既存SA-90の後継モデルとして、鋳造製法の1ピースホイールへの軽量化に主に取り組んだ「SA-70」を投入しました。技術的にも鋳造インナーリム素材部をスピニング工程でローラー成型し、素材の靱性強度を上げリムを薄肉化し軽量と剛性の両立を実現させ、さらにスポーク下部にアンダーカット加工とブルーリボン塗装を施すなど現時点で最高の技術を駆使したスポーツタイプホイールとして、高い評価と販売実績をあげており、スポーツホイール市場でのシェアアップとブランド確立に寄与しております。

老人介護福祉分野へ進出！

グレイシャスビラ 安城



この度、弊社グループは新幹線三河安城駅前の当社旧安城支店跡地において、愛知県及び安城市から認可取得した高齢者複合福祉事業を施設名「グレイシャスビラ安城」として本年5月営業開始するに至りました。地域の総合福祉ステーションとして皆様に安心してご利用いただけるような質の高い介護サービス体制の確立を目指して参ります。



「セダン部門：最優秀賞」「東京オートサロン2005 with NAPAC」にて獲得！！

本年1月14・15・16日千葉県「幕張メッセ」にて開催されました「東京オートサロン2005 with NAPAC」に出展したウェッズブースのセルシオ（オリジナルNEWホイール「クレンツェ・バズレイア」装着車）が、「東京国際カスタムカーコンテスト2005」において「セダン部門：最優秀賞」を見事受賞しました。これもユーザー様からの応援の賜物と感謝申し上げます。



ウェッズ
キャンペーンガール
佐藤 寛子

「ウェッズスプリングキャンペーン2005」今年も好調！！

6年目を迎える「ウェッズスプリングキャンペーン」を今年も2月より開催いたしております。春のタイヤ履き替え需要時期にウェッズオリジナル他多数の商品を取りそろえてセールスが販売店を訪問しており、お取引先・ユーザーの認知度も高まっています。



「2005 Super GT Race」に参戦決定！！

2005年全国主要サーキット並びに海外のサーキットにて開催される全日本GT選手権改め「Super GT Race」に「WedsSport Racing Team with BANDO」が正式に参戦を決定。

ドライバーは、昨年に引き続き「谷口信輝」選手、また昨年GT500クラスのドライバー「加藤寛規」選手を起用し更に戦闘力UP！！マシンは昨年に引き続き「TOYOTA GT CELICA」にて参戦！！

今年こそは、表彰台を独占しシリーズチャンピオンを狙います。皆様の応援を宜しくお願いします。



会社概要

商号	株式会社ウェッズ WEDS CO.,LTD.
本社	東京都大田区大森北1-6-8 東伸24大森ビル6階
設立	昭和40年10月12日
資本金	8億5,275万円
従業員数	133名
業務内容	自動車用アルミホイール・スチール ホイールを中心とした自動車部品・ 用品の販売

役員 (平成17年6月27日総会後新役員)

取締役社長 (代表取締役)	川口 修
常務取締役	谷越 時 義
常務取締役	山口 義 弘
取締役相談役	永井 秀 哉
取締役	加藤 寛 夫
取締役	大村 正 夫
取締役	畑井 勇喜雄
取締役	伊澤 秀
常勤監査役	川崎 史 博
監査役	清水 延 能
監査役	本田 耕 介

※取締役加藤寛夫氏は、商法第188条第2項第7号ノ2に定める資格要件を満たす社外取締役であります。
※監査役清水延能氏及び本田耕介氏は、「株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律」第18条第1項に定める社外監査役であります。

株式情報

- 会社が発行する株式総数 ……17,780,000株
- 発行済株式総数 ……4,445,000株
- 株主数 ……688名
- 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
中央精機株式会社	1,621,800	36.49
石原 勝 成	316,759	7.13
株式会社UFJ銀行	222,000	4.99
ウェッズ従業員持株会	139,810	3.15
碧海信用金庫	127,000	2.86
民享工業股份有限公司	109,700	2.47
株式会社三井住友銀行	91,000	2.05
根津 昭	70,300	1.58
六和機械股份有限公司	64,000	1.44
星野 肇	60,500	1.36

■ 株価推移

